

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
455 史跡和歌山城保存修理事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

事業種別	継続		
事業期間	H19 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	史跡和歌山城整備計画		
担当課・担当課長・Tel	和歌山城整備企画課	山路 都子	435-1044
関連課	文化振興課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		和歌山公園管理費	
	大事業		和歌山公園管理事業	
中事業		史跡和歌山城保存整備事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 和歌山城の史跡整備については、「史跡和歌山城整備計画報告書(平成28年度改訂版)」を基本に、事業計画を作成し、史跡和歌山城整備委員会の意見や国・県の指導のもと、保存整備を行っています。		全体事業概要 老朽化した石垣(天守閣石垣・岡口門附土塀石垣等)、二の丸西部(二の丸御殿の大奥付近)、西の丸(能舞台)の整備に向けて、石垣調査、発掘調査及び史跡整備委員会での協議を行っております。二の丸西部においては、石組みの排水溝や漆喰で出来た池などが貴重な遺構が発見されていることから、それらの遺構を展示する方法を検討し、紅葉溪庭園の改修も含めた一体的な整備を図ることにより、新たな観光スポットを創造して行きたいと考えています。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
二の丸御殿遺構発掘調査 西の丸西側石垣修理(発掘・設計) 史跡和歌山城整備計画の効果検証等		二の丸御殿遺構発掘調査報告書作成 西の丸西側石垣修理(調査) 西の丸庭園修復(地形測量) 史跡和歌山城整備計画見直し	西の丸西側石垣修理(施工) 大奥・能舞台の復元(構想) 天守閣耐震診断 天守台・岡口門附土塀石垣調査	西の丸西側石垣修理(施工) 大奥・能舞台の復元 第16回全国城跡等石垣整備調査研究会の開催 史跡和歌山城第40次発掘調査	大奥・能舞台の復元	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	5,933	13,033	18,406	15,372	47,552	38,207	30,855		30,855	
伸び率(%)	-	-	210.2%	17.9%	158.4%	148.5%	▲35.1%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	16,615	19,900	19,900	20,821	24,064	23,992	24,008	24,008	
	正規職員以外	3,650	4,773	4,773	4,733	4,871	4,839	6,213	6,213	
	小計	20,265	24,673	24,673	25,554	28,935	28,831	30,221	30,221	
国庫支出金	2,894	9,617	5,374	7,627	16,972	14,449	14,456		14,456	
県支出金	144	141	268	381	741	614	663		663	
市債										
その他	2,795	3,266	5,231	7,400	14,402	12,563	14,634		14,634	
一般財源(税等)	100	9	7,533	-36	15,437	10,581	1,102		1,102	
所要人数(人)	正規職員	2.23	2.68	2.68	2.62	3.03	3.01	3.01	3.01	
	正規職員以外	1.86	2.43	2.43	2.15	2.15	2.1	2.56	2.56	
主な予算内訳	西之丸石垣修理工事(14,950千円) 第16回全国城跡等石垣整備調査研究会開催事業(2,991千円) 史跡和歌山城第40次発掘調査(5,787千円)									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 調査場所数	箇所	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	0		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	0.0%		
成果指標	目標値	目標値					
		実績値					
		達成度(%)					
	実績値	目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「史跡和歌山城整備計画報告書（平成28年度改訂版）」を基本に、事業計画を作成し保存整備を継続している。
見直し・改善内容	